

薬剤師が話す薬剤師との係わり方



桐生薬剤師会

松井 孝史

全ては健康を願う人々のために



株式会社ファーマみらい



弊社薬局の取組み

● 測定機器を利用した、健康チェック



● 薬剤師による健康お薬相談



● 管理栄養士による栄養お食事相談



弊社薬局の取組み

●健康食品の試食会



●薬剤師体験など、子ども向けの企画



●自治会・地域包括支援センターなど、地域と協力したイベント など…



株式会社ファーマみらい 健康イベント内容一覧



● 血管年齢測定



使用機器：メディカルアナライザー
測定時間：約20秒

● 骨量測定



使用機器：骨ウェーブ
測定時間：約1分

● 肌年齢測定



使用機器：肌年齢計
測定時間：約3分

● 物忘れ測定



使用機器：
物忘れ相談プログラム
測定時間：約3～5分

● 血管年ストレス測定



使用機器：ボディチェッカー
測定時間：約5分

● ストレス測定



使用機器：マインドチェッカー
測定時間：約4分

● 貧血測定



使用機器：アストリムフィット
測定時間：約1分

● 脳年齢測定



使用機器：らくらくウェルネス
測定時間：約5分

● 体組成測定



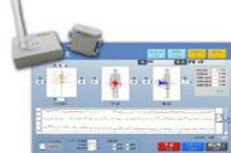
使用機器：体組成分析機
測定時間：約5分

● トータルスキン測定



使用機器：ベラリスト
測定時間：約5分

● 体力測定器



使用機器：バランスビューアー
測定時間：2分～3分

● 動体年齢測定器



使用機器：クイックキャッチ
測定時間：約1分～2分

● 視力俊敏性測定



使用機器：クイックアーム
測定時間：約1分～2分

● 肺年齢測定



使用機器：ハイ・チェッカー
測定時間：約1分～2分

● 心肺蘇生トレーニング



使用機器：ブライデンPRO
測定時間：約1分～2分

● 体老化度測定



使用機器：AGE s センサ
測定時間：約30秒～1分

● 健康食品試食会



● 薬剤師体験



● 管理栄養士や薬剤師による、お食事お薬に関する相談会・勉強会



いきつけの薬局

かかりつけの薬剤師

あなたを守る **薬と健康の専門家**です

かかりつけ薬局 **かかりつけ薬剤師**

また血圧が上がってる…
数値を改善したい…

また持病の症状が出てきた…
このへんでいい病院はないかな

ずっと同じ薬を
飲み続けているのに治らない、
本当に効いているのかな



元気なとき

- ☑ 食生活、運動など健康生活全般に関わる相談
- ☑ サプリメント・健康食品の相談と販売
- ☑ 健康診断結果の相談
- ☑ スポーツ競技者のドーピングの相談

病気かな？

- ☑ 対面や電話による相談
- ☑ 病状に応じてかかりつけ医との連携
- ☑ 病院、クリニックの紹介
- ☑ 病状や体質に応じた適切な市販薬の選択とアドバイスの相談

薬物治療中

- ☑ 処方せんの内容のチェック（医薬品の重複、飲み合わせ、体質との作用など）
- ☑ 薬の飲み方、使い方の説明
- ☑ 薬を間違えないようにしたり、飲みやすくするための相談
- ☑ 薬の効き具合や副作用の確認

在宅医療

- ☑ 地域の医療機関・介護事業者と協力して在宅療養中の患者さんサポートに参加
- ☑ 医師の処方せんに従い、療養している患者さんの自宅や介護施設まで薬をお届け
- ☑ 薬の服用状況や効き具合を確認し、飲みやすくするために工夫

元気なときも病気のときも、一貫して同じ薬局で相談して もらうことがあなたの健康づくりに役立ちます



薬を飲むあなたの安全を守る！

薬局と薬剤師の役目

かかりつけ薬剤師をもつことが
安心・安全につながります



安心

◎お薬の飲み合わせのチェック

薬局では患者さんごとに「薬歴」という記録をつけており、重複する薬の確認や相互作用の回避に努めています。

◎副作用の未然防止と処方提案

薬がきちんと効いているか、副作用が出ていないか？医師と相談して処方内容の見直しなど、問題解決に当たります。



相談できる

過去に使っていた薬の履歴や、体質や体調を把握しているので、薬との相性などの確にアドバイスしてもらえます。



経済的

複数の病院の薬の重複服用を防ぐことで、薬にかかるお金が適正になります。低価格のジェネリック医薬品への変更など相談してくれます。

Q 気をつけたい “相互作用”って何？

一種類だけでは問題ない薬でも、二種類以上組み合わせることで良くない作用が起こることがあります。相互作用は薬だけでなく食品の成分でも起こり得ます。



薬の効き目が、
強くなりすぎたり、
弱くなりすぎたりする

薬の服用状況を知る手段

お薬手帳はあなたを守ります

いまの日本の医療体制では、複数の病院から処方される薬の服用状況を共通して管理する仕組みは完全に確立されていません。いつも『お薬手帳』を携帯することは、あなたの飲んでいる薬を記録して身を守る有効な手段です。最近はスマートフォンに記録できる電子版も普及しています。



『お薬手帳』のメリット

1. あなたの身を守ります

複数の医療機関から処方された薬の情報をまとめられるのがお薬手帳の役割です。相互作用や副作用から身を守ります。また災害時に避難所などで、常用している薬など適切な薬を提供してもらうための確認にも使われます。

2. 飲む薬が増えないようにします

相互作用を防ぐだけでなく、不要な薬を使わなくて済むようになります。経済的にもお得です。



あなたに合った 市販薬の選び方

頭痛・生理痛薬、花粉症の抗アレルギー薬、皮膚用薬など、病院で処方される薬と同等の成分を持つ一般用医薬品(OTC医薬品)も次々と市販されています。

×
昔から
使っているから

×
好きなタレントが
テレビCMに
出ているから

◎
薬剤師に相談して
購入している

市販薬は店頭やネットで自由に買える便利さがあります。しかし、製品にはそれぞれ配合された成分や効き目の特徴も違います。あなたの体質との相性や、副作用が起きる可能性もあり、自己判断で選ぶのはリスクがあるのです。やはり市販薬も適切な薬を薬局で専門家に選んでもらうことが大切です。

Q 値段が高いほど効くの？

パッケージが豪華で、たくさんの成分が入っていて、値段が高い薬のほうが効きそう…と思われがちですが、複数の成分を組み合わせた「合剤」の場合、自分に不必要な成分まで服用してしまうことも起こりえます。高価だからといってあなたに合うとは限りません。

もっと薬局を気軽に活用してください 処方せんがなくても入れます

薬局は健康について相談できる **一番身近で確かな窓口**です

- **食生活、健康食品で気をつけることは**
今飲んでいる薬と併せて、栄養相談や健康食品の使い方などを一緒に考えてくれます。
- **自分に合った医療機関はどこ？**
地域のあらゆる病院、クリニックの処方せんを受け付けているため、近隣の医療の詳しい情報をもっています。
- **健康診断の結果を持参しよう**
健康診断の結果をもらい、そのままにしている方が多いと思います。数値を改善する相談に乗ってもらいましょう。
- **入院時や在宅医療の際の連絡も**
病院に入院することになったとき薬局に連絡をすると、これまでの服用の履歴や病院での治療に必要な情報をお渡しして、安全に治療を引き継ぐ事ができます。

薬剤師は
薬と医療の
専門家です

健康サポート薬局の概要

健康サポート薬局

- かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を有し、
- 地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する薬局
- 都道府県知事等に届出を行い、薬局機能情報提供制度に基づき公表。

※平成28年10月から届出開始。令和3年12月末現在、2,842薬局が届出



地域包括ケアシステムにおける地域住民の身近な健康の相談相手

※「積極的な支援」とは

- ① 医薬品や健康食品等の安全かつ適正な使用に関する助言
- ② 地域住民の身近な存在として健康の維持・増進に関する相談を幅広く受け付け、適切な専門職種や関係機関に紹介
- ③ 率先して地域住民の健康サポートを実施し、地域の薬局への情報発信、取組支援も実施

かかりつけ薬剤師・薬局の基本的機能

- ① 服薬情報の一元的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導
- ② 24時間対応、在宅対応
- ③ かかりつけ医を始めとした医療機関等との連携強化

健康サポート機能

- ① 地域における連携体制の構築
- ② 薬剤師の資質確保
- ③ 薬局の設備
- ④ 薬局における表示
- ⑤ 要指導医薬品等の取扱い
- ⑥ 開局時間
- ⑦ 健康相談・健康サポート

健康サポート薬局の取組み例

出前講座

薬剤師「いまさら聞けないお薬の疑問」
看護師「認知症予防」
栄養士「減塩のコツ」等の
地域住民向け講座の実施。



健康フェア

お薬・栄養・介護相談会

薬剤師・管理栄養士がコラボレーション。病気や食生活に関する話題の提供や相談会の実施。



ロコモ活動教室

ちょっとそこまで歩こう会

薬局に地域住民が集まり、看護師等も
同行しながらウォーキング等を実施。



健康通信

季節に合わせて健康や疾病
予防に関する情報を発信。



1日薬剤師体験

地域の子供たちが、薬の
作り方や薬剤師の仕事
など薬局の裏側を体験。



受診勧奨により早期治療につながった事例（皮疹）

【背景】

- 塗り薬を求めて薬局を訪れた。

【健康サポート薬局における対応】

- 症状を伺った結果、带状疱疹の可能性を考慮し、受診勧奨をした。

【その後の経過】

- その後、抗ウイルス薬の処方箋を持参され、带状疱疹であったことを確認した。





正しく使わないとよく効きません

薬の服用方法や使用のタイミングには理



- 1 口から飲み込む
- 2 胃を通過
- 3 腸で吸収
- 4 血管から患部へ
- 5 肝臓で代謝
- 6 腎臓から尿で排泄

薬の種類
薬の種類には、ここで説明した口から飲み込む「内服薬」のほか、医師の管理のもとで使われる「注射薬」、皮膚に塗る「外用薬」があります。

この順番で作用する薬の効くメカニズム

「原因菌を抑える」「症状を和らげる」「抵抗力を高める」...
一般的によく使われる飲み薬は、口から飲み込んだ後、腸管から吸収されて血液とともにからだの中を運ばれ、患部に作用します。

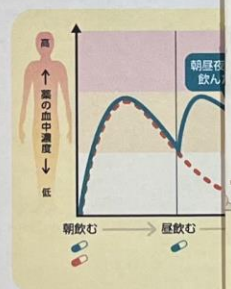
こんな薬の飲み方はNG

Q 錠剤は噛んで飲むと早く効く？

カプセルや錠剤は水で飲んで胃に到達、腸管で溶けて吸収されるようになってきています。胃で溶けずに腸で溶ける設計の薬などは噛んでしまうと吸収されずに効かなくなることも。

Q 薬はジュースで飲んでいい？

水以外の液体では吸収が遅くなって効き目が悪くなることも。また水なしで飲むと胃の粘膜を傷つけます。

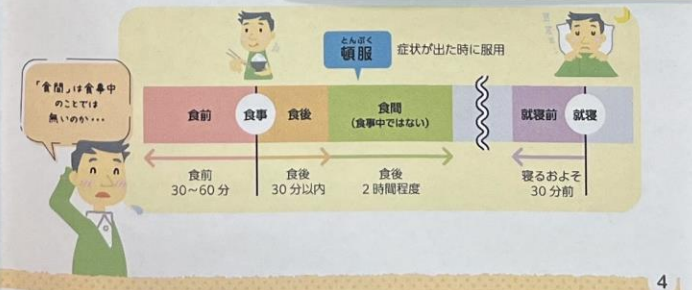


一日に何回

お薬を体に効くようにする(必要な薬の濃度)にする必要がある(必要な薬の濃度)などの服用タイミング)用量

HAND BOOK 薬局活用ハンドブック

薬局を賢く活用して健康づくりに役立てて下さい!



いざというとき
のために

大事にストックされている薬(実例)



ある家のストック
よく見ると、ベンゾゼアピン系、
NSAID、漢方、制酸薬・

ある家の冷蔵庫
座薬や湿布がし
まってある



拡大して
みました

なんと
薬袋には
平成17年？
14年？





高齢者の薬物治療

- 複数疾患
- 身体機能の低下
- 有害事象の増加

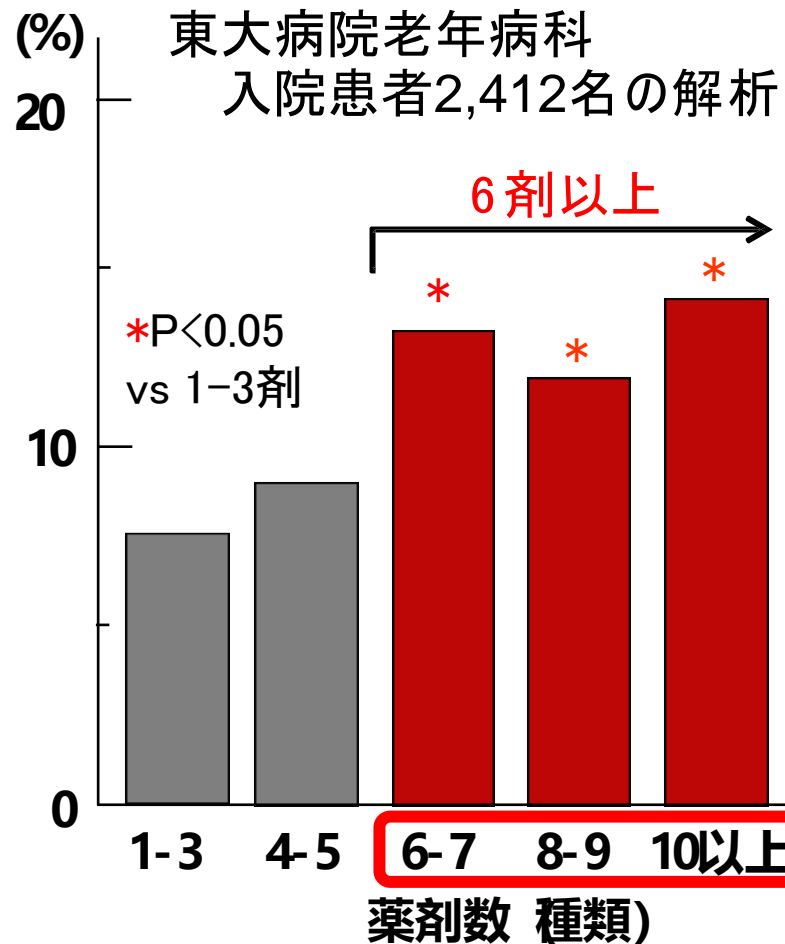
表 1 高齢者で薬物有害事象が増加する要因

多くの因子が高齢者における薬物有害作用増加に関連しており、表にまとめた。そのうち最も重要なのは、薬物動態の加齢変化に基づく薬物感受性の増大と、服用薬剤数の増加である。

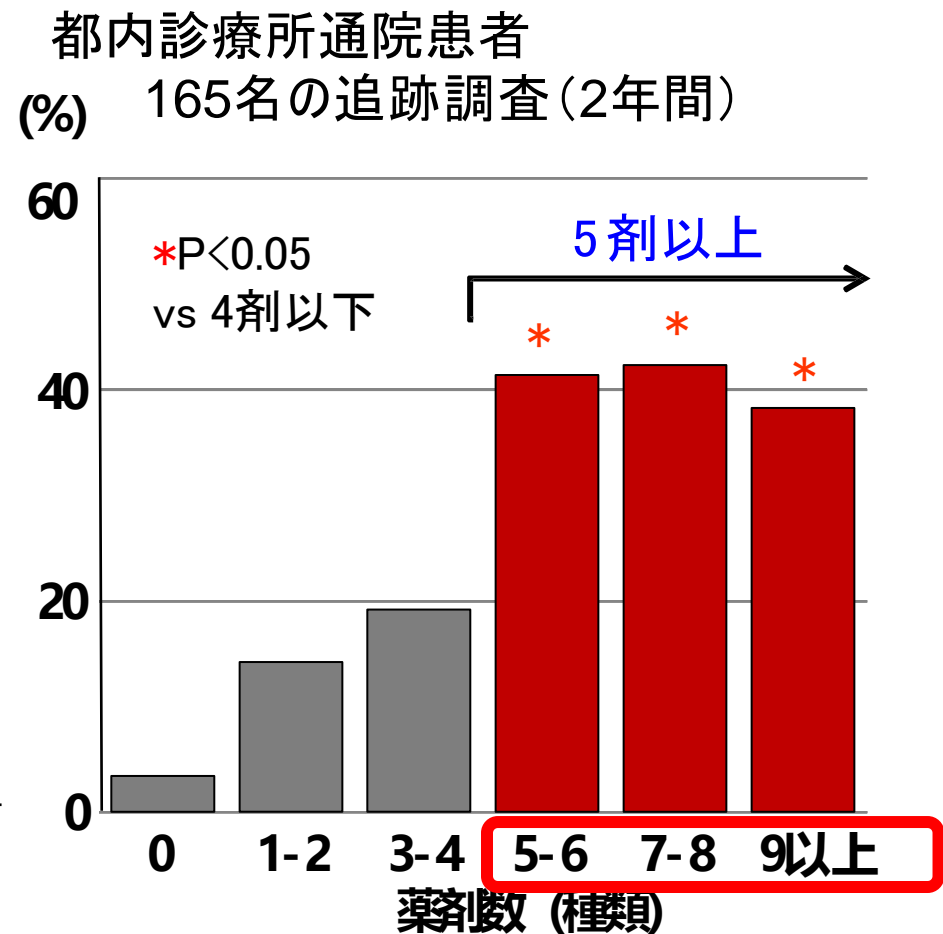
疾患上の要因	複数の疾患を有する→多剤併用、併科受診 慢性疾患が多い→長期服用 症候が非定型的→誤診に基づく誤投薬、対症療法による多剤併用
機能上の要因	臓器予備能の低下(薬物動態の加齢変化)→過量投与 認知機能、視力・聴力の低下→アドヒアランス低下、誤服用、症状発現の遅れ
社会的要因	過少医療→投薬中断

高齢者の多剤併用と老年症候群

1) 有害事象の頻度



2) 転倒の発生頻度

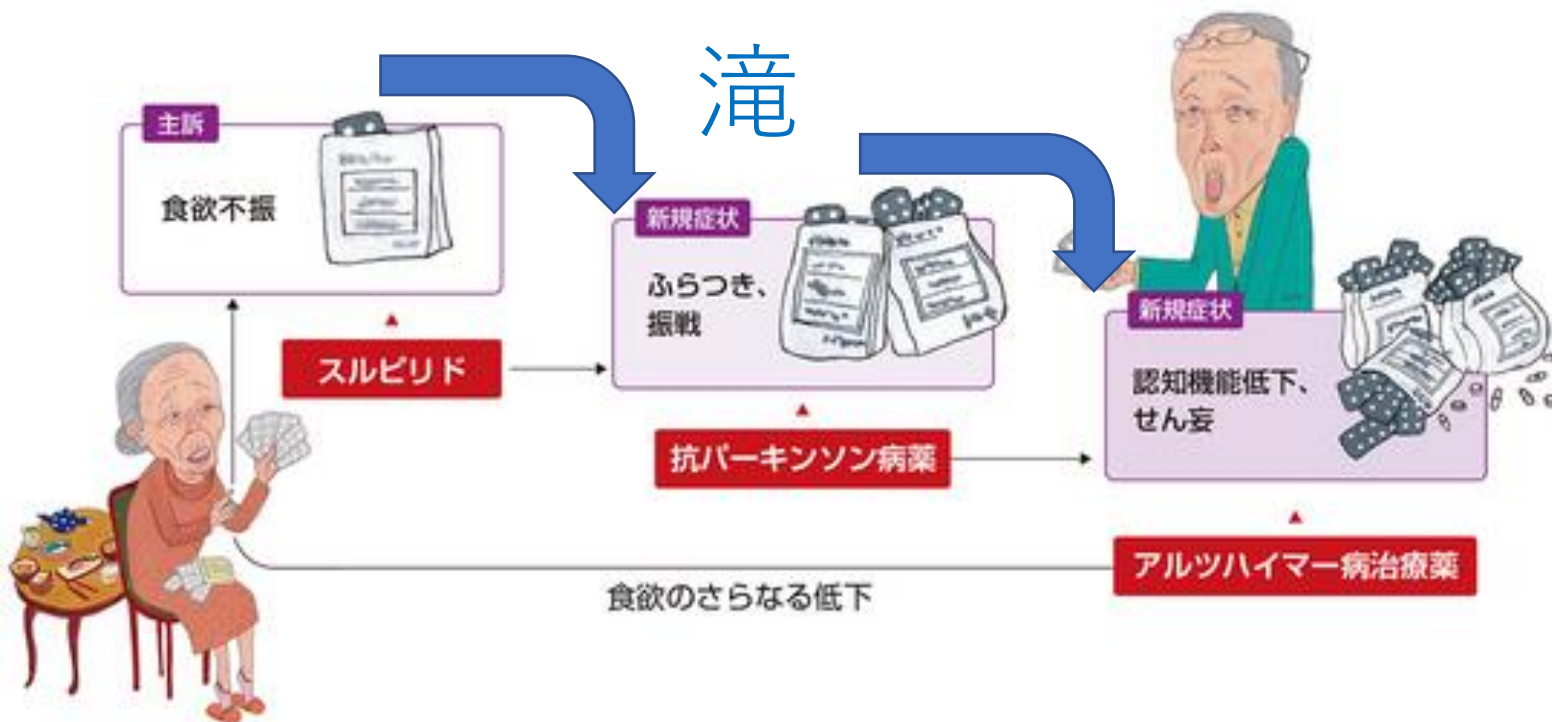


(Kojima T, Akishita M, et al. Geriatr Gerontol Int 2012)

処方カスケード

例えば、食欲不振を訴える高齢患者にスルピリドを漫然と長期処方すれば、錐体外路症状が生じやすくなるが、その原因が薬剤と気付かないままパーキンソン病を発症したと考え、抗コリン作用を有する抗パーキンソン病薬を追加する。さらに、その副作用としての認知機能低下を認知症の発症と捉え、アルツハイマー病治療薬を追加するという例がある

処方カスケードの罟を回避せよ 2016/4/13 日経メディカル



薬剤起因性老年症候群と主な原因薬剤

症 候	薬 剤
ふらつき・転倒	降圧薬 (特に中枢性降圧薬、 α 遮断薬、 β 遮断薬)、睡眠薬、抗不安薬、抗うつ薬、てんかん治療薬、抗精神病薬 (フェノチアジン系)、パーキンソン病治療薬 (抗コリン薬)、抗ヒスタミン薬 (H_2 受容体拮抗薬含む)、メマンチン
記憶障害	降圧薬 (中枢性降圧薬、 α 遮断薬、 β 遮断薬)、睡眠薬・抗不安薬 (ベンゾジアゼピン)、抗うつ薬 (三環系)、てんかん治療薬、抗精神病薬 (フェノチアジン系)、パーキンソン病治療薬、抗ヒスタミン薬 (H_2 受容体拮抗薬含む)
せん妄	パーキンソン病治療薬、睡眠薬、抗不安薬、抗うつ薬 (三環系)、抗ヒスタミン薬 (H_2 受容体拮抗薬含む)、降圧薬 (中枢性降圧薬、 β 遮断薬)、ジギタリス、抗不整脈薬 (リドカイン、メキシレチン)、気管支拡張薬 (テオフィリン、アミノフィリン)、副腎皮質ステロイド
抑うつ	中枢性降圧薬、 β 遮断薬、抗ヒスタミン薬 (H_2 受容体拮抗薬含む)、抗精神病薬、抗甲状腺薬、副腎皮質ステロイド
食欲低下	非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID)、アスピリン、緩下剤、抗不安薬、抗精神病薬、パーキンソン病治療薬 (抗コリン薬)、選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI)、コリンエステラーゼ阻害薬、ピスホスホネート、ピグアナイド
便秘	睡眠薬・抗不安薬 (ベンゾジアゼピン)、抗うつ薬 (三環系)、過活動膀胱治療薬 (ムスカリン受容体拮抗薬)、腸管鎮痙薬 (アトロピン、ブチルスコポラミン)、抗ヒスタミン薬 (H_2 受容体拮抗薬含む)、 α グルコシダーゼ阻害薬、抗精神病薬 (フェノチアジン系)、パーキンソン病治療薬 (抗コリン薬)
排尿障害・尿失禁	抗うつ薬 (三環系)、過活動膀胱治療薬 (ムスカリン受容体拮抗薬)、腸管鎮痙薬 (アトロピン、ブチルスコポラミン)、抗ヒスタミン薬 (H_2 受容体拮抗薬含む)、睡眠薬・抗不安薬 (ベンゾジアゼピン)、抗精神病薬 (フェノチアジン系)、トリヘキシフェニジル、 α 遮断薬、利尿薬

図3 代表的な非薬物的対応



(高齢者医薬品適正使用検討会 作成)

③ 多職種での役割、連携

● 地域包括ケアを担う医療・介護関係者等との協力、施設内又は地域内の多職種での情報共有とチームの形成

処方の確認・見直しは、医師、歯科医師、薬剤師が中心となるが、生活の質 (Quality of Life: QOL) の維持向上を担う役割を持ち、服用状況の管理や服薬指導を行う。

地域の多職種が日常的に連携し、電話やFAXによる相談、情報共有や施設内で開催されるケア会議などで処方を確認し、必要に応じて医療・介護サービスを提供する。服薬支援の方法を具体的に伝

職種	役割
看護師	服用管理 ADL の向上 服薬の効果
歯科衛生士	口腔内薬 また薬物
理学療法士 ・作業療法士	薬物有罪
言語聴覚士	嚥下機能 薬物有罪
管理栄養士	食欲、栄養
社会福祉士等	入院 (所) (所) に対応
介護福祉士	服薬状況
介護支援専門員	各職種 への伝達

● 地域包括ケアを担う医療・介護関係者等との協力、施設内又は地域内の多職種での情報共有とチームの形成

高齢者の 医薬品適正使用の指針

総論編



訪問薬剤（居宅療養）管理指導開始に至る4つのパターン



薬の専門家

訪問サービスを活用しませんか？

薬剤師がご自宅へ伺い 薬の管理をします



チェック✓

薬の管理が
できない



チェック✓

飲み忘れ
飲み間違い
が多くて困る



こんなお悩みは
ありませんか？

チェック✓

何に効く薬か
分からない



チェック✓

足が悪く
薬局まで
行けない



※訪問介護の利用限度額には含まれません

もしかして、薬のせい?

薬で体調変化が起こることがあります。
年齢のせい、病気のせいと思いきや、薬剤師に相談してください。



薬剤師は、地域の医療・介護の
専門家とチームを組んで
在宅訪問に取り組んでいます。



薬のことはもちろん、
ご自宅の衛生管理や
介護用品についても
ご相談下さい。

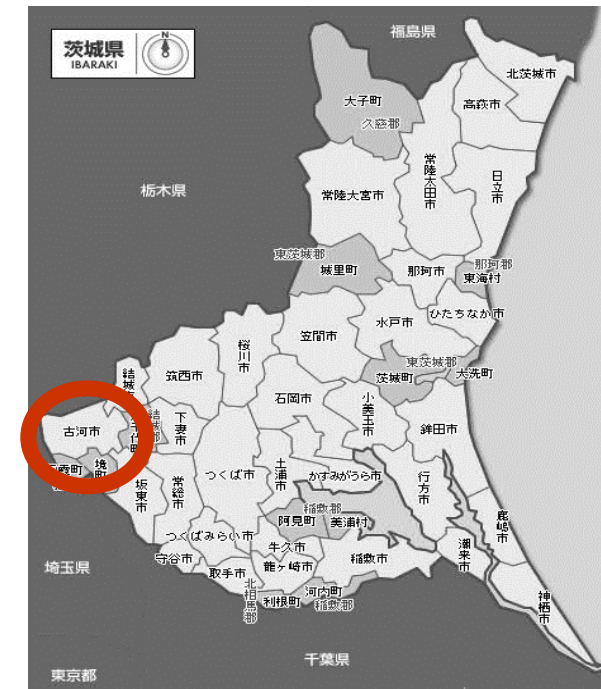


ご相談は、こちらどうぞ

地域のすべての薬局が参加し、ケアマネジャーの強みを生かした連携で 服薬問題に挑む『古河モデル』とその効果



- 宇田和夫¹⁾（社会福祉法人下総プリンスクラブ） 高橋真吾¹⁾（古河中央薬局日赤前）
縦山徳幸¹⁾（オレンジ薬局） 吉田聡¹⁾（薬局・なくすりーな） 田村美帆¹⁾（共創未来総和薬局）
加藤大貴¹⁾（あおぞら薬局） 川島与輝¹⁾（あおぞら薬局） 後藤沙矢香¹⁾（あおば薬局）
渡邊久江²⁾（愛光園居宅介護支援事業所） 安部一枝²⁾（古河市社会福祉協議会）
塚田弘子²⁾（総和中央病院居宅介護支援事業所） 渡辺恵美²⁾（白英荘居宅介護支援事業所）
木村貴政²⁾（ウエルシア介護サービス古河） 山下美妃（北海道科学大学）
赤荻栄一²⁾（古河市古河福祉の森診療所） 1) 古河薬剤師会 2) 茨城県介護支援専門員協会古河地区会



連携事業の目的

- 古河市内のケアマネジャーとかかりつけ薬局の薬剤師が協働し、在宅療養者の服薬管理の課題に対して地域全体を網羅できる仕組みを導入して、その効果を評価することを目的とした。

対象者

- 事業に参加する市内の居宅介護支援事業所の全ての利用者

参加薬局・事業所数

- 薬局：62薬局（市内全保険薬局の88.6%） ➡実質、全薬局参加
- 居宅介護支援事業所：15事業所（市内居宅利用者の約45%に担当）

古河モデルの連携の方程式

服薬スクリーニング

利用者情報へのアクセス力を強みとするケアマネ

※ケアマネは情報は持っているものの専門領域のアセスメントをすることは困難である



服薬アセスメント

薬の専門家である薬剤師（かかりつけ）

※薬剤師は薬学的アセスメントをするための情報を十分に収集しにくい環境にある



地域の利用者の薬の問題を拾い上げ解決する



介護支援専門員協会
古河地区会

協働

古河薬剤師会

一般社団法人 群馬県薬剤師会

Gunma Pharmaceutical Association



[県民の皆様へ](#)



[会員向け](#)

アブラチャン Parabenzoin praecox クスノキ科

copyright©2017 Gunma Pharmaceutical Association all rights reserved.

- トップページ
- 薬局検索
- おくなりQ&A
- お問い合わせ
- アクセス



**夜間・休日等
医薬品提供体制
薬局リスト**

研究倫理

ようこそ、一般社団法人群馬県薬剤師会のホームページへ。

一般社団法人群馬県薬剤師会では、県民の皆様へ有益な情報を提供できるように心掛けております。ご覧いただいた情報が参考になればと思います。

群馬県薬剤師会並びに各市町村薬剤師会からのお知らせ

※閲覧前に更新をご確認下さい (WindowsはF5、MacはCommand+R)

(群馬県内の会員以外の薬局様へ)地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築とその周知について (詳細) 4月25日
※ユーザー名・パスワードは電話(027-243-6650)にて群馬県薬剤師会へお問合せください

認定実務実習指導薬剤師更新講習会について (詳細) 5月21日

●高崎市薬剤師会（高崎市）

- [外来対応薬局リスト](#)
- [在宅対応薬局リスト](#)
- [その他の薬局機能リスト](#)
- [夜間休日対応薬局](#)

●桐生薬剤師会（桐生市、みどり市）

- [外来対応薬局リスト](#)
- [在宅対応薬局リスト](#)
- [その他の薬局機能リスト](#)
- [夜間対応薬局リスト](#)
- [休日当番薬局リスト](#)

●伊勢崎市薬剤師会（伊勢崎市、玉村町）

- [外来対応薬局リスト](#)
- [在宅対応薬局リスト](#)
- [その他の薬局機能リスト](#)
- [夜間対応薬局リスト](#)
- [休日対応薬局リスト](#)

●太田市薬剤師会（太田市）

- [外来対応薬局リスト](#)
- [在宅対応薬局リスト](#)
- [その他の薬局機能リスト](#)

学校薬剤師部会
24時間体制薬局

<在宅対応に係る体制>

更新日：2024年5月29日

【本リストの利用にあたって】

- 本リストは、地域において在宅訪問（訪問薬剤管理指導／居宅療養管理指導）を行う薬局や在宅業務に係る薬局機能（医療用麻薬の取扱いや無菌製剤処理の可否等）をとりまとめたものです。新たに薬剤師の在宅訪問を希望される際などにご参照ください。
- かかりつけ薬剤師・薬局を既にお持ちで、新たに在宅訪問の希望がある場合には、当該薬局にご相談ください。
- 本リストは、在宅患者への時間外の緊急時対応（夜間の調剤等）を目的としたものではありません。
- 時間外の緊急時対応が必要な場合は、
 - ①薬局による在宅訪問（訪問薬剤管理指導／居宅療養管理指導）を受けている方は、当該薬局までご連絡ください。
 - ②薬局による在宅訪問を受けていない方（外来患者）は、外来対応に係る体制、もしくは夜間対応薬局・休日開局当番薬局をご参照の上、お問合せください。

会員専用ページ

桐生薬剤師会 事務局
〒376-0024
桐生市織姫町5-50
桐生協同薬局内

リンク

群馬県薬剤師会

桐生市リスト

※横にスクロールしてご覧ください。クリックで拡大もできます。

薬局名	会員	所在地	連絡先電話番号（開局時間中）	在宅訪問の実施可否	在宅患者は			
					月曜日	火曜日	水曜日	
アエル薬局桐生店	○	桐生市新里町新川4003-3	0277-46-7980	○	09:00-18:00	09:00-18:00	09:00-18:00	9:00-
あさひ薬局	○	桐生市浜松町2-12-30	0277-30-2132	○	12:15-15:00	12:15-15:00	-	12:15-
ウエルシア薬局桐生川内店		桐生市川内町3-207-1	0277-40-3680	○	09:00-18:00	09:00-18:00	09:00-18:00	9:00-
ウエルシア薬局桐生境野店	○	桐生市境野町2-727-1	0277-30-3532	○	09:00-20:00	09:00-20:00	09:00-20:00	9:00-
エンドー薬局おりひめ店	○	桐生市錦町2-9-9	0277-44-8088	○	09:00-18:00	09:00-18:00	09:00-18:00	09:00-
エンドー薬局さくら店	○	桐生市広沢町2-3187-1	0277-55-0080	○	09:00-18:00	09:00-18:00	09:00-18:00	09:00-
エンドー薬局	○	桐生市広沢町6-898-6	0277-52-1515	○	9:00-18:00	9:00-18:00	9:00-18:00	9:00-
共創未来 あおい薬局	○	桐生市境野町6-588-1	0277-20-8025	○	09:00-18:15	09:00-18:00	-	09:00-

ご清聴ありがとうございました

おくすりe情報

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/okusuri/index.html>

普及啓発、法令検索、統計、最近の話題、薬剤師・薬学教育等の情報が入手できます。



医薬品医療機器情報配信サービス (PMDAメディナビ)

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medi-navi/0007.html>

無料登録で、医薬品・医療機器の安全性情報、医薬品の承認情報がタイムリーにメールで配信されます。



薬局・薬剤師に関する情報

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/yakkyoku_yakuzai/index.html

厚生労働省から発出された薬局・薬剤師に関する法令・通知等の情報が入手できます。

